

菖蒲の庭から

自分の良さを見つけ、仲間と共に学び合う子どもの育成

「笑顔・あいさつ・思いやり」「勇気・挑戦・積み重ね」

小田原市立東富水小学校
学校だより R6 5月
第2号



緑の輝く5月になりました。中庭の木々は、やわらかい緑色から日に日に色を濃くしています。昆虫や鳥たちも活発に活動するようになってきました。6年生の国語の教科書に載っている「やまなし」の「五月」の章を思い起こしながら、心地よい風を感じています。

この「菖蒲の庭から」では、「学ぶ」「遊ぶ」「働く」「創る」をキーワードに、「自分の良さを見つけ、仲間と共に学び合う」子どもたちの姿をお知らせしていく予定です。



新年度になって、1か月がたちました。今年度も、子どもたちにとって、まずは、安心できる場となるように、そして、楽しく学べる学校となるように教育活動に取り組んでいきます。

さて、お子さんの様子はいかがでしょう。学習面や生活面、友だちとの関わりなど、気になることや心配なことがありましたら、どうぞ、遠慮なくご相談ください。

本校では、井上 麻実子 養護（総括）教諭、高橋 美穂 総括教諭、橋本 真美 教諭、山崎 ちひろ 教諭が、「教育相談コーディネーター」として窓口となり、教育相談や学習支援、学校生活の支援、専門機関や制度の紹介などを行っています。

日々の授業を大切に

子どもたちが生きるこの時代は、社会の変化が加速度を増し、先行き不透明な、予測困難な時代であると言われています。では、今、子どもたちにどんな力を育むことが必要なのでしょう。

中央教育審議会答申では、『一人一人の児童（生徒）が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要』と示されています。

与えられた課題に対して、解答を速く正確に求めることはもちろん必要な力ですが、それとともに自ら問いを見つけ、解決策を友だちと協力して考え、新たな方法や考えを生み出すことが大切になってきます。子どもたちにはそれぞれ個性があり、その子その子のよさや持ち味があります。わたしたちは、「その子らしさ」を認めながら支え励ましていくことを大切にしたいと考えています。

また、2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」について、①個別最適な学びと②協働的な学びが挙げられています。これまでの「日本型学校教育」では、授業については、教師側の立場から「何



ICT 機器を活用しながら考えを深めます。



校内研究会
職員同士で話し合い、学び合います。

をどう教えるか」を見てきましたが、「令和の日本型学校教育」では、子どもたちが「何をどう学ぶか」主体性や当事者意識をもって考えられるように、いわば、「子ども側に立ち、子どもを主語にする」という学ぶ側からの視点で捉えなおした授業づくりに取り組んでいきます。



低学年（2年生の授業）



中学年（3年生の授業）



高学年（6年生の授業）

それぞれの学年の授業で、仲間と共に学び合う様子が見られます。これから、どんな学び合う姿が見られるか楽しみです。

東富水小では、特に、校内研究をとおして、学年やブロックで、そして全体で授業づくりについて話し合い、実践を重ねていきますが、そこにつながる、日々の授業こそを大事に積み重ねていきます。その様子は、また、次の機会にお伝えします。

授業やその他の活動で、そして、地域で、「**自分の良さを見つけ、仲間と共に学び合う**」姿が見られるよう、チーム東富水（学校・家庭・地域）で取り組んでいきたいと思えます。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



4・5月の生活目標

「すすんで あいさつをしよう」

東富水小の合言葉「笑顔・あいさつ・思いやり」「勇気・挑戦・積み重ね」とおだわらっ子の約束の2「**明るく笑顔であいさつします**」との関連を図り、校内の児童・生活指導部で生活目標を決め、各学年、学級に合わせて取り組んでいるところです。

朝や帰りには「おはようございます」「さようなら」などと元気なあいさつが交わされています。朝、正門付近で安全見守りをしていると、子どもの方からすすんであいさつする子も多くいます。なかには、「雨の中ありがとうございます。」などと温かいことばとともにあいさつをする子もいて感心します。

学校では、まず、教職員が明るくあいさつをすることに率先して取り組みます。まだ、恥ずかしさもあるためかあいさつのない子もいますが、指導・声かけをさまざまな形で続けていきます。

また、子どもたち自身でも自分たちの状況の振り返りを行い、自主的な行動につながるよう考えています。



地域での朝や帰りの子どもたちの様子はいかがでしょう。朝、PTA登下校指導班の方々が、黄色い旗を持って見守ってくださっていて、学校の近くでは、保護者の方にもあいさつをする声をきくことができますが、お気づきの点は、お声をお寄せください。

これからも保護者・地域の皆様とともに明るいあいさつが交わされ、より温かいかわりの広がる地域になるよう取り組みます。